



biotope T.B.D. and ARABIA FLEA MARKET

April 25 - May 19 2015
in doinel

doinel journal

April, 2015
Take Free

biotope t.b.d./ARABIA 蚤の市
April 25 (sat.) - May 19 (tue.) 2015

doinelにて「biotope」の北欧ヴィンテージのテーブルウェアを中心にご紹介するイベント“biotope t.b.d.”。今年も、GWのイベントとして好評をいただいている“biotope t.b.d & ARABIA 蚤の市”を開催します。蚤の市ではフィンランドのARABIA 窯で作られた食器類を中心に通常よりお値打ち価格でご紹介します。長く使い続けられるシンプルな形状と華美ではない装飾で、日本のテーブルにも馴染むものが多い北欧ヴィンテージ。ぜひ気軽に取り入れてみてください。

[biotope]

北欧のテーブルウェアなどのヴィンテージアイテムを中心に扱うショップ。2004年、北欧の50-70年代におけるモノ作りや生活スタイルの豊かさを現代の生活に新しく提案したい、という思いをもって学芸大学にオープン。移転する形で、2011年3月から伊勢丹新宿本店本館5Fに出店、ヴィンテージアイテムを中心とした定期的な展示や催事を開催中。フロア改装を経て2015年3月4日よりリニューアルスタート。

new arrival

FOX UMBRELLAS “Telescopic Umbrellas Whanghee Crook Handle” doinel exclusive color



1868年ロンドンに創業したFOX UMBRELLAS。鯨骨製に代わる世界初のスチールフレーム、空軍のパラシュートの残材であるナイロンを利用した世界初の化学繊維の傘の開発など、現在の傘の基本となる形を作ってきたメーカーです。doinelで昨年よりご紹介しているのはワンギー（竹）ハンドルの折りたたみ傘。既存のブラックに加えて、新たにネイビーと、別注カラーのブルグレーが入荷、4/4(土)からご紹介予定です。折りたたみ時はフォックスならではの細いシルエットに収まり、傘を開くと長傘くらいの大きさに。存在感のある持ち手は鞆から覗かせても絵になります。本来は男性用のモデルを、doinelではユニセックスとしてご提案しています。

look at

Linen by Anu Leinonen



フィンランドとフランス、それぞれの場所でファッションデザイナーとしてのキャリアを築いてきたAnu Leinonen (アヌ・レイノネン)。2015年5月23日(土) - 6月9日(火)の期間、AnuがフィンランドのテキスタイルメーカーLAPUAN KANKURIT (ラプアンカンクリ)のためにデザインしたリネンタオル / ブランケット“USVA”と“KASTE”のフェアを開催します。上質なリネンを持つためか、さらさらとした肌触りを使い始めから感じていただけるウォッシュドリネンは、Anuが取り入れて以来、同社の定番の仕上げ方法となりました。カラーリングや素材感など、細部へのこだわりと日常使いの上品さが宿るリネンアイテムは、いわゆる北欧雑貨の枠では括れない独自の存在感を持っています。使い心地と共にその繊細なデザインにご注目ください。

vetements et accessoires

SCHA 2015SS



doinelでは毎シーズン人気のSCHA (シャ)。ドイツ・ケルンのデザイナーのEwa Kulasek (エヴァ・クラセク)によるブランドで、すべて天然素材を用い、彼女の小さな工房で一つずつ手作りされています。彼女が作る帽子は、伝統的なフォルムと現代的な軽やかさを併せ持ち、被る人や被り方、被る場所によってさまざまな表情を見せてくれます。決めすぎにならない絶妙なバランス感で、一度被るとリピーターになる方も多いSCHA。今シーズンは初のペーパー素材やコットンニットのハットなど、持ち歩きに便利なアイテムも加わり、さらに軽やかなラインナップになっています。

doinel standard

Vaxbo lin “Bath mat”

スウェーデン北部ヘルシングランド地方にて1989年に創業したVaxbo lin社は、麻の産地であった当地で、リネンの紡績、織り、デザインと全製造行程を自社で行っています。70年以上前から使われている織機を使い、伝統的な方法で上質なリネンのテーブルクロス、タオルなどを生産。しっかりとした織りのリネン100%素材は、バスマットとしては少し贅沢な印象ですが、リネンの吸水性や速乾性、丈夫さという機能性を考えるととても合理的なプロダクト。お風呂上がりの足元がすぐにさらっとする感覚はぜひ体験していただきたいものです。



info by doinel

New Shop Open “doinel gift store (仮)”

2015年8月、doinelの姉妹店が福岡市中央区薬院にオープン予定。CARTA PURA オリジナルのシンプルで上質なプロダクト、フィレンツェのファインペーパー“Carta Varese”などを中心に紹介します。

【スタッフ募集】

新店舗オープンに伴い、店長候補として働いていただける方を募集します。

■募集期間：3/15～4/30

書類審査後、福岡にて面接させていただきます。応募書類は返却致しませんので予めご了承ください。

■応募方法

詳細はdoinelウェブサイトをご覧ください。
http://doinel.net/pages/newshop_fukuoka

My favorite ○△×

My favorite “ぐい呑まない、ぐい呑み”

私はうつわが好きである。好きが高じて「UTSU-WA?」という名のイベントを主宰するほどうつわにとらわれている。ヴィンテージも骨董もプロダクトも好きだけど、とくに見ているのはいまを生きる作家の陶磁器。暇さえあれば、お店やギャラリーを巡ってうつわパトロール。毎週といっても大袈裟だけど月に一度といたら足りないくらい、何か購入してしまう。作る人へ会って話せてその手を知って背景に触れながらものを買えることは、いましかできない何よりの贅沢だと感じています。といいながら、パトロール中、どうしても目に入って呼ばれたかのように手にとってしまうのは、手作りの人に人の手で作ったとは思えないようなもの。ぬくもりというよりは緊張感を感じる造形や装飾、切り立ったエッジのライン。技術を突き詰めるると人の手はまるで機械のように精密なものも生み出せるわけで、生身の人と機械化しちゃったかも(?)な人のあいだ、ギリギリの



せめぎ合いがスリリングです。私がそれをとくに感じるのは100mlほどの小さなカップ、あるいはぐい呑み。普段日本酒は飲まないのに目の前の小さな宇宙に魅かれてつい買っちゃいます。たまにつまみのチョコやオリーブを入れませうけど。「いうつわは空間を作る」と誰がが言っていたけれど、飾って見ることも使うことだと思っていいいでしょう。好きだなあ。“ぐい呑まない、ぐい呑み”。

✍️ 衣奈 彩子 (ライター、UTSU-WA? 主宰) enasaiko.com/utsu-wa.com

女性誌編集部を経て独立。産休を機にふつうのごはんをおいしく見せるうつわにハマり、作り手を応援、取材する日々。作家ものうつわでシェフの料理を食すシークレットレストラン「UTSU-WA?」主宰。

doinel

[location]

3-2-9 Kita-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107-0061

It is 3 minutes' walk from Gaienmae Station

of Ginza Line to doinel.

Open 12:00 - 20:00

Closed Wednesday

[contact]

tel +81-(0)3-3470-5007

info@doinel.net

↑ a_doinel

f doinel

